

歩行障害・認知機能低下でお困りの方へ

当院では、検査入院をして脳疾患による歩行障害、認知機能低下、尿失禁等の原因となる脳疾患がないかを調べる事が出来ます。検査の結果、軽度認知障害(MCI)および軽度アルツハイマー病(AD)であった場合には新薬であるレカネマブ(レケンビ)の治療を選択する事ができます。

入院期間:2泊3日

検査内容:

1日目	2日目	3日目
採血	腰椎穿刺(髄液検査)	MRI(脊髄)
CT	MRI(脳)	
頸動脈エコー	運動機能検査	

*腰椎穿刺の前は禁食となります。また検査後1時間はベッド上で安静となります。

検査の結果 AD 以外に想定される疾患は

- ・慢性硬膜下血腫
- ・頭蓋内動脈狭窄症・内頸動脈狭窄症
- ・脳腫瘍
- ・てんかん
- ・ウェルニッケ脳症
- ・ビタミン B12 欠乏症
- ・パーキンソン病
- ・パーキンソン症候群
- ・甲状腺機能低下症
- ・うつ病



等が診断される可能性があります。この中で幾つかの脳疾患は、外科的処置で治療可能な認知症と言われています。

上記の疾患がない場合で、軽度認知障害(MCI)および軽度アルツハイマー病(AD)であった場合には、新薬であるレカネマブ(レケンビ)投薬を選択することもできます。

気になる方は、脳神経外科外来へ気軽にご相談下さい。

令和6年3月

福寿会足立東部病院 脳神経外科